



神田区白山権現神社（2024.10.13）

大 秋

お
お
く
て



撮影 2024年10月（大湫町内にて）

祭りが終わると足早に、冬がやってくる
長旅をするアサギマダラが、フジバカマの花に
休息とエネルギー補給にやって来た
自生するフジバカマ、今はほとんどない

主な目次

大湫町の「村祭り」	1～2
ワーキングホリデー	3
高齢者交通安全教室	4
国際樹木学会一行来町	5
夢のような花「ハカタユリ」	6
「集まろう会」	7
丸森だより	8

大湫町の「村祭り」



尾州徳川家の神輿



犬山城主から譲り受けた山車



神田公民館での神事



公民館から白山権現神社への渡御

10月は大湫町の4つの区(神田・北・西・足又)で祭礼がおこなわれます。

「秋祭り」

大杉が倒れ、同時にコロナ禍となり、充分な祭りが出来ない頃から思うと、以前の様な感じに戻りつつあり、担い手の高齢化など問題もあります。大湫の皆さんの気持ち「祭りをしっかりやるんだ」とまとまってい

ると思いました。

仕事を終えた若者組の夜遅くまで笛太鼓の練習が盆地の中で聴けるようになると、理屈ではなく「さあ祭りだ!」という気分になる。状況は変化して行きますが何とか対応しながら、秋祭りが大湫町の誇りとして楽しみとして持続できたらと祈願します。

天野裕夫

神田「白山神社例大祭」

昨年までは感染拡大の影響を受け神事のみ行ってきました。今年は今までどおりの例大祭をと思いましたが、

4年間のブランクがあり、色々考えると不安気持ちになりました。

青年の方は権現山の社へ行き神様を振り返ることなく公民館(仮の座)へお迎えしなければなりません。前日までのお囃子の練習・当日は朝からお櫃へ桧の葉を敷き縄で縛る餅詰めの作業・餅投げ景品の準備と大変です。

子供達に「お餅拾えた」と聞くと「いっぱい拾えた」とうれしそうでした。やはり餅投げは、楽しいです。

柘植巧

足又八幡神社例大祭

10月20日、この日は足又区の八幡神社例大祭。祭の当日は抜けるような青空で、朝は今季一番の寒さでした。

「コロナ」がまん延し、感染防止に厳しい対策が要求され、それ以降、祭は縮小。今年も直会は取り止め。

だが、餅撒きは区民の強い要望があります。餅拾いは大きな楽しみ。餅の入った袋には、商品との引換券も入っているのです。「今年は赤字を出しても豪華賞品を揃えましたよ」と神社総代の奥村寛さん。

神事は予定より少し早めに執りおこなわれま



例大祭を告げる幟

す。神職の修祓（しゅぼつ）により参加者のお祓いがおこなわれると神事の開始です。



撒饊

神主による閉扉。「ギツギー」との音が静かな境内に響き、神事が終了。

公民館（足又倶楽部）の広場に、老若男女が集まり、餅投げを今か今かと待ちます。開始の合図は太鼓。餅撒き担当と太鼓をたく担当との息が

合わず、フライング気味に太鼓がたたかれてしまいました。それでも餅が宙を舞うと、人の波が動きました。拾う人の数に比べ、投

げられる餅の数が多いのは足又区の餅撒きの魅力なのです。来年こそは直会（なおらい）でお酒を酌み交わし賑やかな例大祭が執りおこなわれることを期待し、商品を手にも、にこやかに参加者が三々五々、帰路につきました。

良いお祭り日和でした。氏神様に感謝。

宮地 真美子



餅撒きを待つ氏子

第2回瑞浪市ふるさと

ワーキングホリデー

「ふるさとワーキングホリデー」とは総務省が開始した事業で、地方創生プロジェクトの一つ。日本国内でワーキングホリデーを経験できる取り組みの一つです。都市に暮らす若い人たちが一定の間、地域に滞在し、働きながら、地域の人たちとの交流の場や学びの場などを通して通常の旅行では味わえない地方をまわること体験してもらい地域とのかかわりを深めてもらおうというものです。今回が2度目で「柏屋」と「西森」に宿泊された3名の方の感想を紹介します。

「目には見えない繋がり」

芹川 萌花

大湫の読み方も知らずに訪れたこの場所です。過ごした2週間は、人と向き合う期間になりました。思い出を振り返った時

にぱっと思い出す

のは、朝散歩して

「おはようござい

ます」の挨拶をし

たり、ふらっと立

ち寄った場所です

たちよつとした会

話だったりの、当

たり前のように普段の生活の中では疎か

になっていた「地域との繋がり」でし

た。大湫はそれを身近に感じられる素敵

な場所でした。

「中山道を通る人」

熊崎 さやか

私は日本の地域の取り組みや農業を学びたいという思いから今回のワーキングホリデーに参加しました。実際に瑞浪にはUターンで戻ってきてさまざまな事業を行っている面白い方々とお話しし、私の将来を改めて考え直す、良い機会にな



伝統料理を学ぶ

りました。

また、カマドでご飯を炊いて五平餅作りをさせていただき、昔からの伝統を守り続ける方々の大切さをあらためて実感しました。

就労と休日ともに刺激的な毎日をごさせていただき、瑞浪の良さを家族や友達に話したいと思います。

「人の温もりが残る地」

北井 かのん

大湫に住んで、地域の人の温かさを感じました。道ですれ違ったら話しかけられ、地域のことを教えていただいたり、焼き魚やきゅうりの漬物をいただいたりと、他の地域では経験したことのない、ご近所同士の繋がりの輪に入れた感じがしました。昔ながらの街並みや田園だけでなく、人の温もりが残る地で過ごせたことを嬉しく思います。

高齢者交通安全教室

今月の「ひよも」は、交通安全協会共催の高齢者交通安全教室でした。

交通安全指導員の村上さんは10月から始まった朝ドラ「おむすび」のギヤル顔負けの楽しいスタイルで登場から始まりました。

恒例となった手作りの紙芝居は、見ざる・聞かざる・言わざるの交通安全のお話でした。横断歩道では、右見て・左見て、もう一度右見て渡りましょうと、おさるさんのように見えないのは×(バツ)。と、こうしたなぞかけや、サイコロを投げ、出た目で、交通ルールを、村上ギヤルと小栗指導員の息の合ったコンビで復習させていただきました。

又、防犯のお話もしていただき何度聞いても、聴く



アコーディオン演奏に合わせて声も出して(言わざる)でなく、大きな声で歌って終わりました

リ・アップ「ひよも」

大竹悦子

アサギマダラ(浅黄斑)

大湫で乱舞おひろめ

松浦館長さんのふるさとへの近く



事で再確認出来る

ことが、この講話のメリットだと毎年思います。

最後に指の体操を旧釜戸中学校の音楽室の

の南アルプススーパー林道へ夏休みに行った時のこと、そこで初めて、アサギマダラを見た感動は、今でも忘れられません。

北区の長谷川宅の庭に植えてあるフジバカマに、何と六匹も飛来。かつて見た一暇ではなく、お昼を食べるのを忘れる位、長く乱舞。しかも、その中の一匹には「チョウの愛好家」がルートを知るために書くといわれている記号がありました。 GN 207

10/7 (もう少し書いてありましたが読めません) 今日10/14なので一週間前に書かれた場所から飛来した事が判りました。今回の感動は偶然かもしれませんが、仲間で飛来をしている? 事と記号の書かれたチョウウが見られた事、そして、どっぷりチョウウ

全貌が観察できた事、時を忘れ、楽しくおしゃべりをしながらなごやかな時をすごせた事もゆめの一つでした。日頃の疲れも忘れ、夢ごこち。チョウウに感謝

大竹悦子

国際樹木学会一行が来町

9月23日から26泊27日の予定で樹木に関心のある外国人37名が日本を訪れた。この団体ツアーは国際樹木学会の主催。極東の国、日本の樹木を見て回る豪華な研修ツアー。イギリスやアメリカなどから羽田に集合し、日本の各地を巡る長期研修。

彼らが開田高原や赤沢自然休養林（長野県木曾郡上松）、岩谷堂シデコブシ群生地（中津川市千旦林）などを見学し、大湫町を訪れたのは、10月8日（火）。

故山口清重氏は、この一行を案内し、恵那峡のホテルで講演する予定だった。ところが、予期せぬ彼の死により予定は大きく変わった。

ツアーの一行の中には清重氏と面識のある人も含まれていた。そんなこともあり、彼の死を悼み、ヒトツバ



清重氏の死を悼み（コウヤマキ。樹高約1.7m）植樹をする代表

タゴ自生地（大湫町神田）を見学後、「花の森」の東屋近くにコウヤマキを記念植樹することにした。

コウヤマキは大湫にも自生し珍しくはないが、一属一種の日本固有種。シードコレクターだった清重氏にふさわしい樹木として選ばれた。

今回のヒトツバタゴ自生地見学や記念植樹には、三戸憲和氏や林幸弘氏らの多大な協力で実現した。記念植樹のコウヤマキには、「The International

Dendrology Society On Their Visit 2024」とのプレートが貼り付けてある。



ヒトツバタゴ自生地付近で、ノブドウの美しい実に興味津々



記念植樹のプレート

夢のような花「ハカタユリ」

こんなに長く生きるとは予想だにできなかったが95歳まで現実に生きている。農協に30年近く勤務したのち、ハカタユリの栽培に専念した十数年は思い出が深い。その甘い香りと美しい容姿はユリの仲間でも王者と言われるにふさわしい。世界各地に多種多様な珍しい植物があるが、どの植物も生き続けられるとは限らない。この東濃地方では、誰かが持ち帰った球根が天然的に恵まれた大湫に根付き、細々と生き残っていた。なぜ大湫の環境がその自生を促したかは不思議である。

原産地は中国四川省である。小石川植物園の研究者に峨眉山の万年寺にあると聞いて思い切って単独で訪中、その境内に発見した時は天にまで昇る気持ちであった。小球と鱗片十球、花一輪をいただいて帰国した。鬼の首でも取ったような気持ちであった。数年後、山口清重氏らに同行し、中国人の案内で四川省の山奥に入り、そこでハカタユリの原種を発見、一球五円ぐらいで入手し喜んで帰国した。

当初はこのユリを輸出農産物として世界に向けて広めようと栽培に取り組んだ。おかげで仕事も順調に進んだ。以前からその栽培に努力され功労賞を受賞された先人の吉村劔次郎氏は私が熱心に神田の畑で栽培しているのを見て、その難しさを指摘された。桃山には毎年7月頃になるとたくさんのハカタユリが咲き誇り、訪れる人たちの目を楽しませた。大湫小学校の子供達はこのユリを讃えてオペレッタを踊って歌ってくれた。(続く)

令和6年10月6日

天野長三郎



ハカタユリ

ハカタユリの球根は、中国では約2000年前から食用や薬として利用されてきた。その栽培が始まったのは遅くとも1000年前までに行われ、その後は花の美しさや香りを称賛する多くの詩が書かれたことから、当時は鑑賞植物としても広く栽培されていたことが分かる。(「ウィキペディア」より)

11月の集まるう会 R6

☆太鼓は..... 11月10日の「音はじめ」に
太鼓で参加します。10時～11時30分まで
ワークショップ、1時～2時まで演奏会です。

「志多ら」さんから指導を受けます。
みなさん参加して下さい。待っています。

☆大湫町文化祭に出展します。

「手づくり小物」と「折り紙作品」みんなで作って
一つにばーれを出展します。
11月2日(土)と3日です。みんなで見に行きま
しょう。

〈大湫町コミュニティ推進協議会 集まるう会〉





2024(令和6)年11月

丸森だより

丸森：
旧森川訓行家住宅
国登録有形文化財
瑞浪市観光案内所

□丸森の企画

・竹細工の町並みと和宮様ミニ行列の
展示（11月3日文化祭まで）

・ススキで作ったフクロウ
（20羽）

フクロウは夜行性で夜目が
効くことで「見通しが明るい」
と言われたり、首が非常に曲
がる事から「開運」・「招福」・
「お金に困らない」・「商売繁
盛」

どうぞ、かわいいフクロウ
に逢いに来て下さい。



可愛いススキのフクロウがお出迎え

又、丸森にも入館されて古い家の様子
を見て行かれ、賑やかな一時でした。

□丸森「庭木の剪定」

10月1日～2日に”くさま
くら”田村さんに庭木の剪定
をしていただきました。さっ
ぱりと気持ち良くなった姿
で、10月6日の秋の例祭（神
明・白山神社例大祭）を迎
えることができました。

□市内の小学校児童来館

・9月27日（金曜日） 稲津小学校 3
年生 30名

・10月2日（水曜日） 釜戸小学校 3
年生 15名

ボランティアガイドさんのお話を聞き
ながら、宿場を見学されていました。



釜戸小の皆さん



稲津小の皆さん

来場者数	町外		町内		外国関係	合計
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
9月度	268人	37人	24人	8人	96人	433人
10/15日迄	191人	20人	14人	2人	108人	335人
	R6,4月～	2,786人	オープン～	57,490人	前年同月比	104%

大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ日

	<p>リ・アップ “ひよも” 《11月のひよもの活動》 『文化祭作品鑑賞会』 日 時：11月3日（日）10:00～11:00 頃迄 場 所：公民館講堂</p>
	<p>大湫宿お休み処 11月の営業日 3日（日）・4日（振休） 10日（日）17日（日）・23日（土祝）・24日（日） ※当日（お急ぎ）の予約は、丸森（☎0572-63-2455）へ お願いします。</p>
	<p>オススメ！！大湫分室の本 『謎が解けると怖い ある学校の話』 藤白 圭/著 主婦と生活社/出版 短い文章の中に、あれ？という箇所が…学校にまつわる呪いとは？ 8月の利用者数：13人 貸出冊数：55冊 9月の利用者数： 4人 貸出冊数： 5冊</p>
	<p>デマンド交通 9月利用者(大湫～日吉東部) 25便 延35名（稼働率 21.9%）</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>皆さん、たくさん利用して下さい。</p> </div>
	<p>「清流の国ぎふ」文化祭2024 ○生誕130年「荒川豊蔵展」 日時：9月14日（土）～11月17日 場所：岐阜県現代現代陶芸美術館 多治見市東町2-4-5 上記招待券2枚あります。 ○「浮世絵おじさんフェスティバル」日時：10月3日～12月8日（日） 場所：中山道広重美術館 団体招待券1枚 公民館までどうぞ</p>
	<p>青色回転灯防犯パトロール 11月のパトロール予定者 上旬：向井 一峰・瀨瀬 富久 下旬：廣田 保雄・木村 伸哉</p>
	<p>11月の『クテの市』開催日 3日（日）・7日（木）・10日（日）・14日（木）・17日（日） 21日（木）・24日（日）・28日（木） 新鮮な野菜がいっぱいです どうぞご利用ください</p>

区長日記

大湫町秋の例大祭が10月6日(日)神明・白山神社、13日(日)神田区白山権現神社、20日(日)足又区八幡神社で執り行われました。いずれ劣らぬ秋晴れの好天に恵まれ、親類縁者を含めた老若男女が相集いました。

とりわけ神田のお祭りは、はじめて参加することもありとても楽しみでした。神田公民館から白山権現神社までの奉遷の儀では、太鼓と笛の音色が田畑に鳴り響き渡り、あたかも絵本の中に描いてあるような里山のお祭りの光景でした。長い歴史の中で培われて、人々に受け継がれてきたこの文化をこれからも大切に伝承していただきたいと思えます。

11月9日(土)は「重点防火指導対象地域における防火訓練」が開催されます。これは令和4年4月と8月に発生した福岡県北九州市且過地区(市場)での火災を受け、総務省消防庁が、木造建築物等が密集し、火災発生の場合に大規模な火災につながる危険性が高い地域の指定及び

防火指導の方針を示しました。

これを受け市内では二カ所が指定されており、一つは旧中山道大湫宿の家並み、もう一つは陶町猿爪地区が木造建築物密集地域として、「重点防火指導対象地域」に指定されています。それで毎年交互に防火訓練を行うことになっています。この訓練に多くの方々に参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

瀬瀬

10月4日 沢の尻堰堤浚渫工事打合せ

定例区長会・幹事会

6日 神明・白山神社例大祭

7日 ゴルフの町みずなみ実行委員会

9・10日 連合自治会視察研修(富山)

13日 神田区白山権現神社例大祭

20日 県消防操法大会出場隊壮行会

27日 県消防操法大会

31日 文化祭会場作り

30	28	26	24	23	16	15	10	9	8	5	3	2	日	令和六（2024）年十一月行事予定
土	木	火	日	土	土	金	日	土	金	火	日	土	曜	
大湫太鼓練習（文化センター）	広報委員会	瑞長連パターゴルフ大会	「大杉音元 抹茶会」ヴァイオリンとピアノとソプラノ ミニコンサート	勤労感謝の日 神明神社新嘗祭	市民図書館イベント「自然で楽しむなぞときワールド」 大湫太鼓	子ども会・インリーダー会	「大杉音元」志多らワークショップ	大湫町民防火訓練	区長会・幹事会	財産区全員協議会	大湫町文化祭	大湫町文化祭 瑞浪市制70周年記念式典	予 定	
<p style="text-align: center;">不燃ゴミ：11/7（木） 資源ゴミ：11/21（木）</p>														

訂正とお詫び

先月号表紙の月と号数に誤りがありました。正しくは10月号459号でした。
訂正し、お詫びいたします。

秋の収穫祭も終わり紅葉の季節を迎えます。また、改修工事も終わり、リニューアルして使いやすいになった公民館をご利用下さい。

編集後記

D

公民館改修工事終了

皆様には長期間、大変ご迷惑をおかけしておりました改修工事が完了いたしました。外側（屋根瓦・外壁）・内側（講堂床・空調）・（1F2F トイレ全面）・図書室照明・空調）・調理室（照明・空調・シンク増設）・事務室1F 会議室（壁・照明・防災設備）など今迄以上に使いやすくなりました。

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
2024（令和6）年11月1日 瑞浪市大湫町422-1 ☎0572-63-2360
<http://okute-shuku.jp>

表紙写真
大：大竹市エ門
小：小栗和茂